

ファルージャ侵攻の被害を追った記録映像である。



ドキュメンタリー映像



ファルージャ 2004年4月

取材・撮影・編集 土井敏邦

イラクにおける米軍占領への抵抗のシンボルとなったファルージャ。2004年4月、米軍は数千の兵力でファルージャに侵攻した。1ヵ月近い米軍の包囲と攻撃によって住民側の死者はおよそ730人、負傷者2800人に達した。なぜファルージャが占領への抵抗の拠点となったのか。米軍はどのように攻撃したのか。だれが米軍と戦ったのか。そして住民はどのような被害を被ったのか。

米軍の包囲解除から10日後、ジャーナリスト・土井敏邦がファルージャ市内に入り、現地取材した。このドキュメンタリーは、イラク戦争終結後から4ヵ月後の2003年8月と2004年5月、ファルージャで撮影した住民の証言を元に、侵攻の被害を追った記録映像である。

DVD・VHS 発売中!

個人 ¥3,500 (税込・送料別)
団体 ¥10,000 (税込・送料別)

申込み・問合せ E-mail: falluja2004@hotmail.co.jp / FAX: 045-311-3772

日本 / カラー 55分 / 2005. 5 / アラビア語ほか (日本語字幕) / 英語版あり / DVD・VHS
製作: 土井敏邦・ファルージャ侵攻の記録を残す会